



JA福岡市の自己改革実践に関する特別宣言

私たちは、循環型総合事業を展開する
「福岡市食料農業協同組合」として、
組合員の営農と生活を守ります。

協同組合とは、組合員の一人ひとりが力をあわせ、みんなの願いをかなえていく組織です。

JAは、農業者が組織する協同組合として、地域農業振興や地域活性化に取り組み、組合員の営農と生活の向上、そして豊かな地域社会づくりを実現してきました。そこでは、JAバンクやJA共済などを含めた総合事業全体としての経営によって、営農指導事業をはじめ生活・相談関連事業、地域活動支援に至るまで、組合員のための多彩な事業展開を可能としてきました。

JA福岡市は、今後とも総合農協としての原点に立ち、正・准を問わず組合員の皆さまとの話し合いを深めることによって、より理想的な協同組合としての姿を求め続けます。そして、各事業が相互に循環する総合事業の強みをますます活かすことで、地域にとってなくてはならない組織であり続けます。

以上、宣言します。

令和元年6月26日

JA福岡市 第57回通常総代会

-
- ・ 循環型総合事業の展開の要となる、JA福岡市の自己改革実践項目については、別添の「総合三ヵ年計画:ダイジェスト版」に **自己改革!** マークで示しています。
 - ・ JA福岡市の指導事業全般に関する令和元年度予算額は、約2億3千万円となっています。
(人件費を除く)

恵^{めぐ}
み



巡^{めぐ}
る

私たちは、循環型総合事業を展開する
「福岡市食料農業協同組合」として、
組合員の営農と生活を守ります。

総合三ヵ年計画
2019▶2021
ダイジェスト版

JA FUKUOKASHI
Three-year plan Digest edition



総合三カ年計画の体系

(2019年度～2021年度)

経営理念

私たちは人と自然とのかかわりを大切にし、
地域に愛されるJA福岡市をめざします。

経営ビジョン

地域に対して：JAの事業は人・自然を大切に活動である。
組合員に対して：JAの中で県下の事業還元ができる。
職員に対して：JAの中で県下の労働生産性・賃金水準である。

三カ年計画

基本方針

私たちは、循環型総合事業を展開する
「福岡市食料農業協同組合」として、
組合員の営農と生活を守ります。

基本目標

1. 農業者へ強力な支援を行い、農業生産力の強化と農業所得の向上に取り組みます。
2. 食と農を基軸として、地域に根ざした協同組合の確立を目指し、組合員・組織と一体となり、豊かで暮らしやすい地域づくりに取り組みます。
3. 食料農業協同組合たる意義を発揮した事業を展開することで、組合員・利用者の負託に応えるJAづくりに取り組みます。

実行方策

1. 多様な農業者の育成と販売力強化による農業所得の向上
2. 組織連携による活動活性化と協同活動の充実
3. 組合員への還元を実現する総合事業の展開
4. 経営の健全化と組合員に求められる職員の育成

実行方策・実行目標・実践事項

I

多様な農業者の育成と販売力強化による農業所得の向上

1. 農業生産力の強化と農業所得の向上

- 1) 農業者の育成と個別面談・重層管理の徹底
- 2) TAC・営農指導員の資質向上と事業横断的経営支援
- 3) 農地の有効利用促進と地域活性化
- 4) 生産部会ごとの生産販売計画の策定と実践

2. 農産物販売機能の強化

- 1) 買い手のニーズに応じた生産販売の拡大
- 2) 農産物の安全性確保と加工品の開発・販売
- 3) 直売所の機能強化と販売拡大

3. 生産コスト低減に向けた取り組み

- 1) 生産資材の価格低減
- 2) 購買事業のスリム化



II

組織連携による活動活性化と協同活動の充実

1. 支店を中心とした協同活動と食農教育の展開

- 1) 支店行動計画のブラッシュアップによる組織活性化
- 2) 地域に対する食農教育活動の実践

2. 魅力ある組織活動の展開

- 1) 青年部・女性部・フレミ部員拡大と活動の充実
- 2) 生活に直結する活動の展開
- 3) 地域貢献に寄与する活動の展開

3. JAファンづくりの強化

- 1) 循環型総合事業の展開による組合員の拡大
- 2) JAファン拡大に向けた次世代活動の実践
- 3) 関係企業との連携強化

4. 組合員の意思反映と情報発信の強化

- 1) 准組合員のメンバーシップ強化と意思反映の実現
- 2) 広報活動と組合員訪問活動の強化
- 3) JA根幹組織の基盤強化

III

組合員への還元を実現する総合事業の展開

1. JAらしい金融サービスの提供

- | | |
|-----------|---------|
| 1) 貯金残高 | 4,484億円 |
| 2) 年金振込純増 | 2,400件 |
| 3) 融資残高 | 2,160億円 |

2. 地域を守る共済事業の展開

- | | |
|----------------|---------|
| 1) 長期共済新規契約高目標 | 1,890億円 |
| 2) 保障点検訪問活動 | 30,000件 |

3. 相談機能を発揮した事業承継の円滑化

- 1) 事業承継対策(民事信託・遺言信託等)
- 2) 資産管理部会・青色申告会・法人部会活動の充実
- 3) 農業・不動産コンサルティングによる経営サポート体制の構築



IV

経営の健全化と組合員に求められる職員の育成

1. 健全な経営による信頼性の確保

- 1) 内部管理態勢強化と会計監査人監査への対応
- 2) 経営管理態勢の運用とシステムの機能向上
- 3) 事業戦略の実践による店舗機能の見直し研究
- 4) 計画的な施設整備と固定資産の有効活用
- 5) 近隣JAとの業務提携の研究

2. 組合員に求められる職員の育成

- 1) 協同組合運動を理解する職員の育成
- 2) 人事労務体制の強化
- 3) 働き方改革を踏まえた新人事制度実施



自己改革! このマークは、JA福岡市がこれまでも、これからも取り組んでいく“不断の”自己改革を示しています。



1 農業生産力の強化と農業所得の向上

農業生産力の増大と農業所得の向上に向け、担い手農家への強力な支援や、緻密な経営分析により、将来性のある農業に向けて指導を充実します。

1) 農業者の育成と個別面談・重層管理の徹底

自己改革!

- 普及センター、福岡市、農業委員会等と連携した地域農業の担い手確保と育成支援
→アグリチャレンジ事業
- 新規就農支援体制の試験的実施
- 個人面談や訪問指導の充実と、女性農業者の育成

2) TAC、営農指導員の資質向上と事業横断的経営支援

自己改革!

- 営農指導員の訪問・面談の徹底
- 営農指導員の能力開発研修の実施
- 農業者への即時性のある情報提供のための携帯情報端末の導入
- 担い手サポートセンターとの連携によるTAC機能強化
- (株)JAファーム福岡と連携した雇用確保対策の実施
- 農業者の高齢化・人手不足対策のための「農の応援団」の設置



3) 農地の有効利用促進と地域活性化

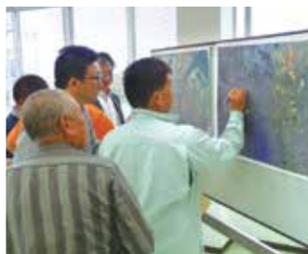
自己改革!

- 遊休農地対策・農地有効利用のため農地地図情報システムの活用
- 関係機関と協力した有害鳥獣被害防止対策の実施
- 各グリーンセンター運営委員会の見直しや、各地区農業ビジョンの実践による地域農業の活性化
- 農事組合の活性化

4) 生産部会ごとの生産販売計画の策定と実践

自己改革!

- 生産部会員との個別面談と後継者への生産指導の強化
- 土壌分析に基づく個別施肥設計の作成と施肥指導の実践
→土壌分析点数1,000点/年



2 農産物販売機能の強化

1) 買い手ニーズに応じた生産販売の拡大

自己改革!

買い手ニーズの把握

- 営業活動の強化による情報収集
- 消費者との交流取組み
- 生産者による販促活動

販売戦略

生産計画

- ニーズに応じた作付拡大・品種誘導
- 時期別・品目別データ分析の活用
- 品揃え充実に向けた不足品目の生産者組織の設立

販売強化

- 部会体制の再編
- 直売所品揃えの充実
- 「よねまる会員制度(米定期配送会員)」の普及と会員拡大
- 集出荷体制の整備



2) 農産物の安全性確保と加工品の開発・販売

自己改革!

農産物の安全・安心の取組み

- 福岡県GAPの取得推進
- 残留農薬検査の実施
→園芸:80検体/年 直売:50検体/年 農産:37検体/年

加工品の開発・販売

- 六次産業化商品開発業者への原料の安定供給

3) 直売所の機能強化と販売拡大

自己改革!

直売

直売所販売高 8.2億円/年
ポイントカード新規発行 1,000枚/年

- 品揃えの充実(個別作付提案・生産指導・他JAとの連携)
- 「生産情報データ」の活用・情報の提供
- イベントによる集客拡大
- スタッフの販売スキル向上
- 5S運動で清潔感のある店舗づくり
- 「クロスFM」でのPRなど広報活動の強化
- 消費税複合税率へのシステム対応
- キャッシュレス会計システムの導入



3 生産コスト低減に向けた取組み

1) 生産資材の価格低減

自己改革!

- 近隣JAと連携した価格設定の見直し
- 大口奨励金制度の見直し実施
- 購買店舗の機能見直し
- 配送機能の再編

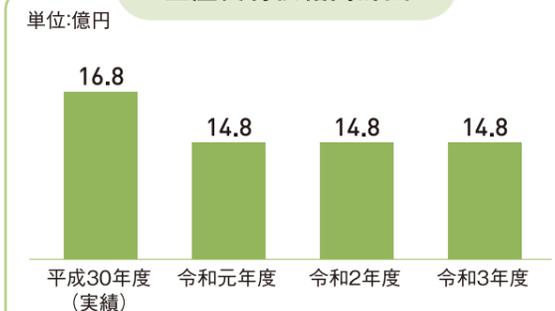


2) 購買事業のスリム化

自己改革!

- 内部統制の徹底
- 購買収益目標管理の仕組みづくり

生産資材供給高計画



Ⅱ 組織連携による活動活性化と 協同活動の充実

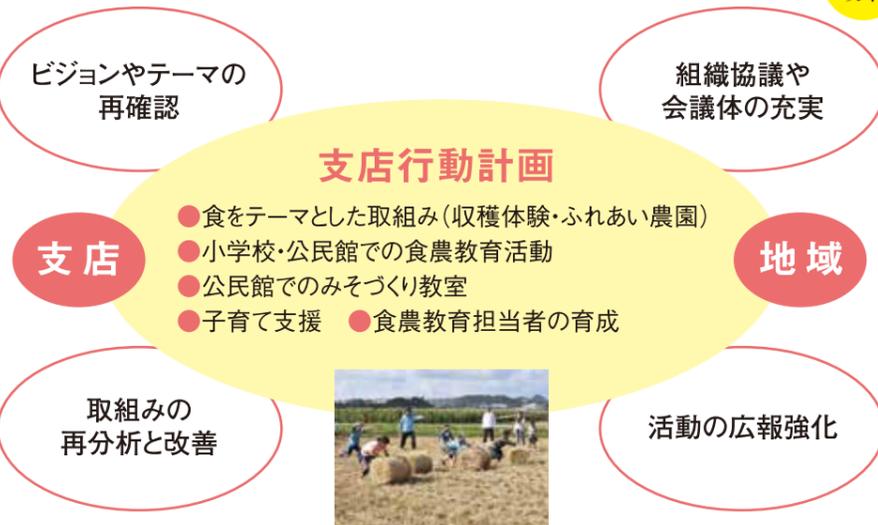
自己改革! このマークは、JA福岡市がこれまでも、これからも取り組んでいく“不断の”自己改革を示しています。

1 支店を中心とした協同活動と食農教育の展開

支店行動計画のブラッシュアップによる地域・組織活性化と、食と農を基軸とした協同活動を展開します。

1) 支店行動計画のブラッシュアップによる組織活性化

自己改革!



2) 地域に対する食農教育活動の実践

自己改革!



2 魅力ある組織活動の展開

JAの基幹組織の自立支援に取り組むとともに、魅力ある活動を展開します。

1) 青年部・女性部・フレミ部員拡大と活動の充実

自己改革!

青年部

- 組織体制の強化
- 活動の活性化と部員拡大
- 新規活動の展開

女性部・フレッシュミズ

- ポイント制による活動の充実
- ひとり声かけ仲間づくり運動の強化
- 女性の次世代対策の実施
- サークル活動の拡大

2) 生活に直結する活動の展開

自己改革!

- 教育資材普及・記事活用
- 元気な高齢者支援 → 健康寿命100歳プロジェクト
- 助け合い組織「やまびこの会」活動支援
- 福祉事業の充実
- 喜ばれる生活購買の提供

3) 地域貢献に寄与する活動の展開

自己改革!

- 防災・災害支援
- 地域安全・環境保全 → 見守るっ隊・地域清掃活動など

3 JAファンづくりの強化

新規加入組合員や、組合員次世代、関係企業など幅広くファンづくり活動に取り組みます。

1) 循環型総合事業の展開による組合員の拡大



2) JAファン拡大に向けた次世代活動の実践



3) 関係企業との連携強化

- 相互協力体制の強化

4 組合員の意思反映と情報発信の強化

組合員の意思反映のための仕組みづくりと、積極的な広報活動に取り組みます。

1) 准組合員のメンバーシップ強化と意思反映

自己改革!

2) 広報活動と組合員訪問活動の強化

自己改革!



3) JA根幹組織の基盤強化

自己改革!



Ⅲ 組合員への還元を実現する総合事業の展開

自己改革! このマークは、JA福岡市がこれまでも、これからも取り組んでいく“不断の”自己改革を示しています。



相談機能の発揮により次世代とのつながりを強化し、JAならではの金融サービスや、地域を守る共済事業などを展開します。また、それらの収益を、食・農・相談・地域協同活動で組合員に還元します。

1 JAらしい金融サービスの提供

自己改革!

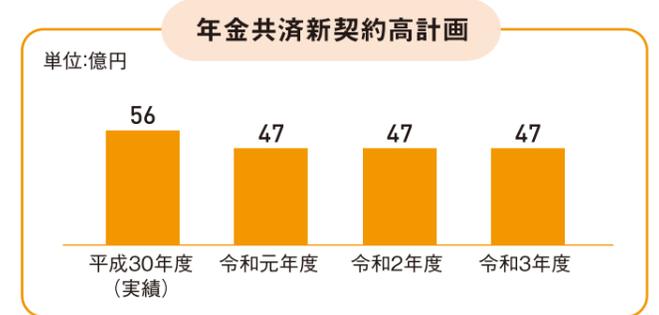
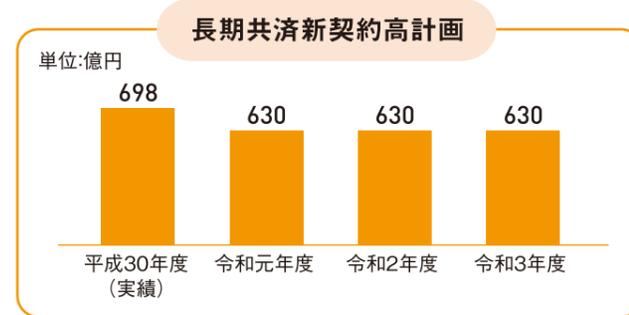
- 利用者基盤の拡充・強化
- 必要とされる農業関連資金の提供
- 融資・相談マネージャーによるコンサルタント機能の発揮
- 粋生倶楽部(年金友の会)での魅力あるイベント企画
- 渉外主任を中心とした訪問活動、窓口職員による「わたしのファンづくり」の実践
- 「食と農」という付加価値のある商品の提供
- 事務堅確化への取組み

2 地域を守る共済事業の展開

自己改革!

ひと・いえ・くるまの総合保障

- 総合保障点検の実施
- 相談業務を通じた提案型推進
- 地域特性・ニーズに応じた多様な提案
- 事務処理の迅速化・事務レベルの向上



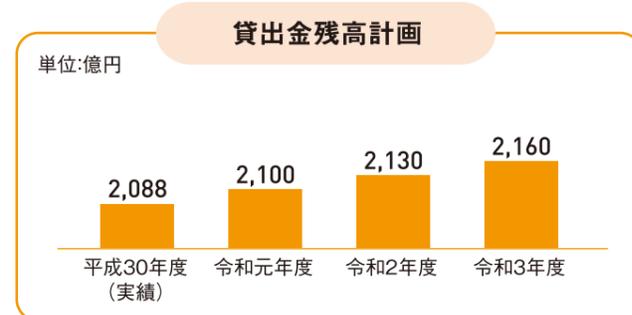
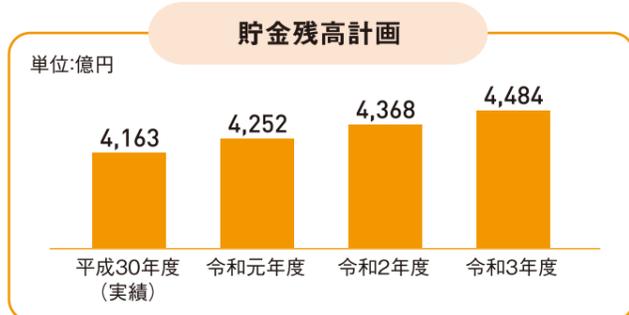
3 相談機能を発揮した事業承継の円滑化

自己改革!

組合員次世代・後継者

- 相続コンサルティング機能の発揮
- 研修会・セミナーの開催
- 定期的な情報発信
- 訪問活動の強化
- 支店行動計画の案内
- 顧問・専門家と連携した相談機能の発揮

JAへの信頼 JAへの相談 JA活動への参画



例)直売所ポイントカード付き定期貯金
住宅ローン契約者向け収穫体験(※過去の事例です)



相談機能の強化

- 職員の相談能力の強化
- 記帳代行機能の強化
- 顧問・子会社と連携した指導体制
- 民事信託の活用
- 資産管理部会・青色申告会・法人部会の活動充実



1 健全な経営による信頼性の確保

総合的なリスク管理の実施、コンプライアンス対策の実践により、経営の健全化を図ります。

1) 内部管理態勢強化と会計監査人監査への対応

- コンプライアンス意識の醸成
- 個人情報 の適正な管理
- 不祥事未然防止対策の実践
- 各種リスクの分析
- 有効な余剰金運用方策の検討・実施

2) 経営管理態勢の運用とシステムの機能向上

- 決算業務の早期化
- 場所別・部門別損益分析に基づいた収支改善
- 利用高配当の実施による組合員への還元
- 貸出金の延滞減少による経営の安全性確保

3) 事業戦略の実践による店舗機能の見直し研究

自己改革!

- 母子店一体化を含む支店機能の再構築
→モデル店舗による実践
- 多角的研究による資産の有効活用とデジタルイノベーションの提案



4) 計画的な施設整備と固定資産の有効活用

- 遊休資産等の有効活用と処分
- 施設整備計画(主要なもの)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
建物等			西GC低温倉庫

※施設整備計画につきましては、現在、事業戦略室及び担当部署にて研究中であり、具体化次第に各年の総代会にて都度お諮りすることとします。

5) 近隣JAとの業務提携の研究

- 県域1JA構想不参加後の経営戦略立案・実施
- 近隣JAとの業務提携の研究・交流活動実施

2 組合員に求められる職員の育成

農を思い、食を考え、協同組合運動を理解する職員の育成に努めます。

1) 協同組合運動を理解する職員の育成

2) 人事労務体制の強化

3) 働き方改革を踏まえた新人事制度実施

求められる職員像

- ①農を思い、食を考え、協同組合運動を理解する職員
- ②組合員・利用者の気持ちを察して行動できる職員
- ③組合員・利用者の要望・質問に迅速・丁寧・正確に対応できる職員
- ④組合員・利用者からも役職員からも信頼される職員
- ⑤内外の変化に柔軟に対応できる職員
- ⑥常に自分自身を高めようとする向上心のある職員
- ⑦コンプライアンスを常に意識する職員

各職員が左記の「求められる職員像」を目指し、自分自身の使命を自覚して、自身のワンランクアップに取り組んでいきます。

JAの活動は、地域の豊かな食を守る農業を通して、人と自然のかかわりを豊かにする活動です。



金融事業を含めた循環型の総合事業を展開し、健全な経営を確保する事で、地域の農業と食を守る活動を展開しています。